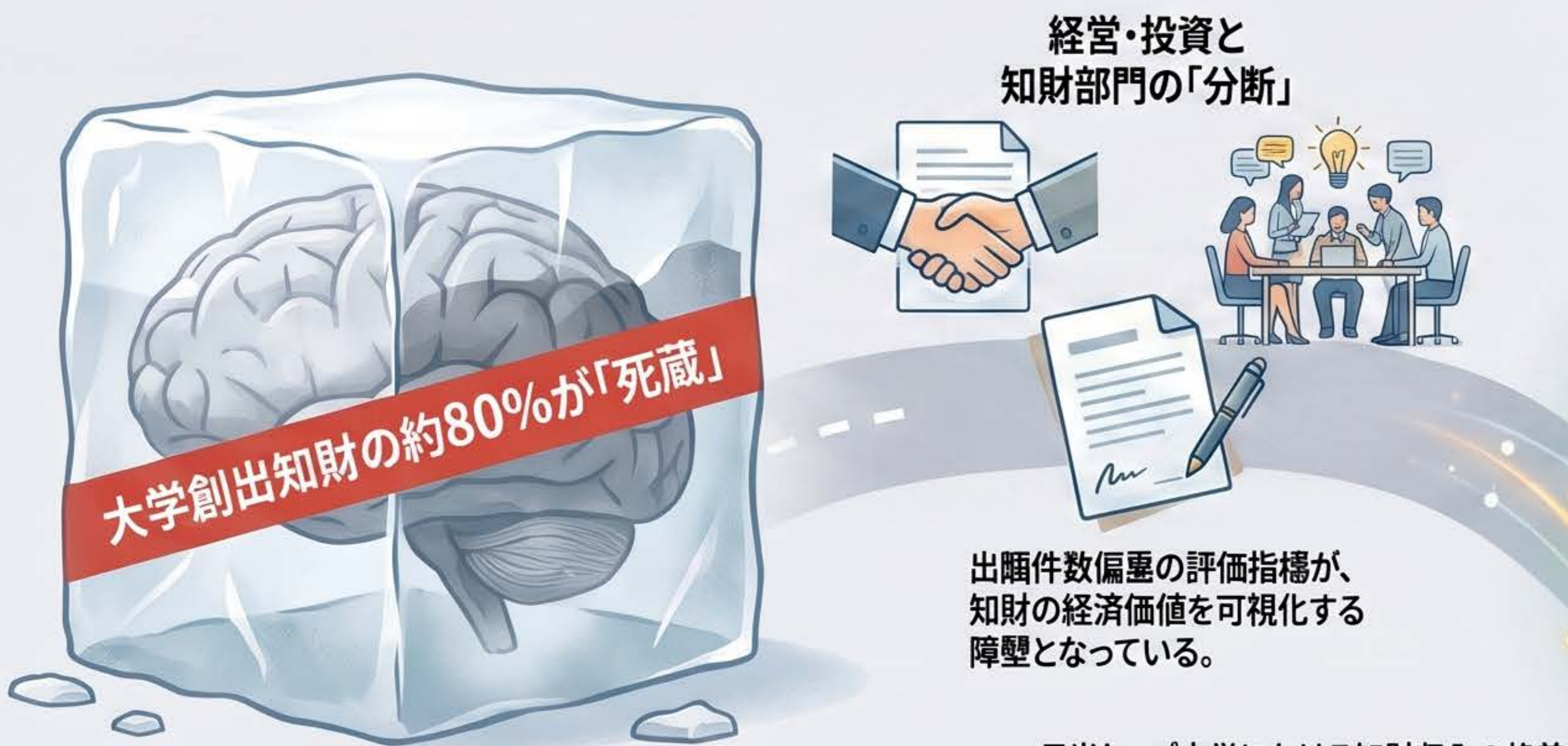


「稼ぐ力」を最大化する知財経営：IPインテリジェンスへの進化

日本の成長戦略における知的財産の役割と、経営判断に直結する「IPインテリジェンス」への概念転換、および具体的な施策の方向性を伝える。

現状の課題：知財が「稼ぐ力」に結びつかない構造的要因

解決策：経営判断に食い込む「IPインテリジェンス」の実装



国内外の知財収入には100倍近い格差があり、優れた技術が事業化されず埋もれている。

日米トップ大学における知財収入の格差



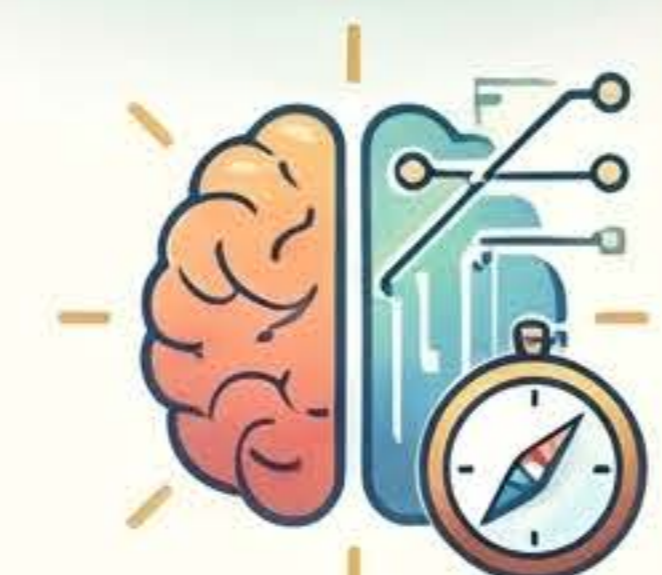
セミナー型支援

セミナー型支援からプッシュ型への転換が必要。中小企業やスタートアップへの個別具体的な支援と、インセンティブ設計が急務である。



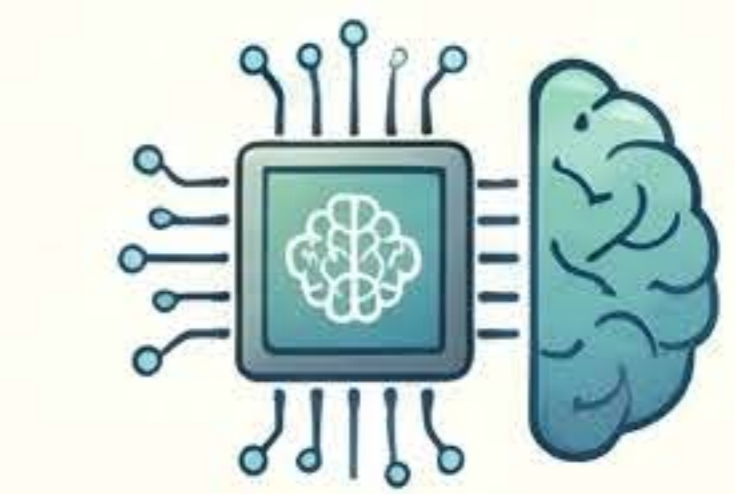
コーポレートガバナンス・コードの改定

取締役会の責務として、知財等の無形資産への成長投資と説明責任を明文化。



IPインテリジェンスへの進化

単なる「地畠(ランドスケープ)」作成から、経営判断に直接貢献する「知能」への呼物変更。



AIトランスフォーメーション (AX) の推進

AIによる審査迅速化や、知財情報の民主化 (MCPサーバー整備等) により懸壁を刷新。



プッシュ型への転換とインセンティブ設計